



金メダリストによる ランニングクリニック

オットーボックは、ロンドン大会 100 m (T42)、
リオ大会走幅跳 (T42) 金メダリスト、ハインリッ
ヒ ポポフ選手による義足ユーザーを対象とした
ランニングクリニックを、2012 年から世界各地
で開催しています。

義足で走る喜びを体験することで、参加者の
方々が友達や家族と一緒にスポーツ、レクリ
エーションを楽しむなど、健康的で、活動的な
生活を取り戻せることを目的としています。

この活動を参加者以外の皆様とも共有するこ
とで、多くの方に障がい者スポーツへの理解を
深めていただくなど、共生社会の実現を目指
しています。

日本では 2015 年より毎年開催しており、参加
者だけでなく、見学者、関わった全ての人々
が勇気と感動を分かち合っています。

ランニングクリニック ウェブページ



パラリンピックへの情熱

—Passion for Paralympics—

オットーボックはパラリンピアンが使用する機器
とそのテクノロジーに関する展示会「パラリン
ピックへの情熱」をイギリス、ブラジル、中国、
アメリカ、ロシアなどの世界各地で開催してい
ます。

板バネ式の走行用義足を使用するためにどの
位の力が必要であるかを体験したり、ハンドサ
イクルや車いすで競争したりすることができ、
パラリンピックの歴史、最先端の競技用機器や、
使用されている技術を楽しみながら学ぶことが
できます。

パッション フォー パラリンピック
ウェブページ



オットーボック・ジャパン株式会社

〒108-0023 東京都港区芝浦 4-4-44 横河ビル 8F

www.ottobock.co.jp

TEL 03-3798-2111 (代表) FAX 03-3798-2112

ottobock.

Passion for Paralympics

パラリンピックをサポートするオットーボック

Quality for life

障がい者スポーツと パラリンピックムーブメント

パラリンピックは、「強い意志」、「勇気」、「インスピレーション」、「公平」というパラリンピックの価値を通して、世界中の人々に感動だけでなく、様々な気づきを与えています。

オットーボックは、長年パラリンピックにおいて修理サービスを提供してきた経験を基盤とし、国際パラリンピック委員会(IPC)のワールドワイドパートナーとして、強い信頼関係を築きながら、パラリンピックムーブメントを支えています。



技術・修理サービス

オフィシャル テクニカルサービスプロバイダーとは

パラリンピックでは、選手が使用する義肢、装具、車いすなどの機器が重要な役割を果たしています。

オットーボックは、競技に集中できる環境を提供することで、選手に最高のパフォーマンスを発揮してもらいたいと考えています。そのために、参加する全選手が使用する機器の修理サービスを、メーカーを問わず無償で実施しています。

1988年のソウル大会以来、夏・冬のパラリンピックにおいて多くの競技者をサポートし続けており、2016年のリオ大会では、134カ国の選手に対して、2408件の修理を提供しました。

パラリンピック ウェブページ



パラリンピック競技大会の歴史

ロンドンオリンピックに合わせ、ストーク・マンデビル病院で車いすアーチェリー大会が開催された。

東京オリンピック終了後の大会で「パラリンピック」という名称が初めて使われた。



オットーボック テクニカル修理サービスの開始
4名の義肢装具士がパラリンピック大会で初めての修理サービスを提供。



IOC と IPC の協力体制樹立



日本人1名を含む68名の技術者が2000件以上の修理サービスを提供。



オットーボック IPC のワールドワイドパートナーとなる
ワールドワイドパートナー契約は2020年東京まで締結。



日本から8名の技術者がサービスチームに参加。トータルの修理サービスの件数は2188件に。



3名の日本技術者が参加。2062件の修理サービスを提供。「パラリンピックへの情熱」展を同時開催。



日本から3名がサービスチームに参加。選手村内の修理サービスセンター、14の競技会場で2408件の修理を実施。

ストークマンデビル

参加者: 16名
参加国: 1カ国

ローマ

参加者: 400名
参加国: 23カ国

東京

参加者: 378名
参加国: 21カ国

テルアビブ

参加者: 750名
参加国: 43カ国

ハイデルベルグ

参加者: 984名
参加国: 40カ国

トロント

参加者: 1657名
参加国: 42カ国

アーネム

参加者: 1973名
参加国: 54カ国

エイズベリー
ニューヨーク

参加者: 2102名
参加国: 54カ国

ソウル

参加者: 4名
参加者: 3057名
参加国: 61カ国

バルセロナ

参加者: 12名
参加者: 3001名
参加国: 83カ国

アトランタ

参加者: 25名
参加者: 3259名
参加国: 104カ国

シドニー

参加者: 60名
参加者: 3881名
参加国: 122カ国

アテネ

参加者: 68名
参加者: 3808名
参加国: 135カ国

北京

参加者: 86名
参加者: 3951名
参加国: 146カ国

ロンドン

参加者: 80名
参加者: 4237名
参加国: 164カ国

リオデジャネイロ

参加者: 77名
参加者: 4333名
参加国: 159カ国

東京

1948	1960	1964	1968	1972	1976	1980	1984	1988	1989	1992	1994	1996	1998	2000	2002	2004	2005	2006	2008	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------



エンシェルツヴィーク
参加者: 53名
参加国: 16カ国

スウェーデンのエンシェルツヴィークにおいて初の冬季大会開催。



ヤイロ
参加者: 299名
参加国: 18カ国

インスブルック
参加者: 419名
参加国: 21カ国

インスブルック
参加者: 377名
参加国: 22カ国

パラリンピックが公式名称に IPC 創設
国際パラリンピック委員会 (IPC) 創設。

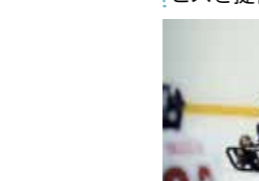
アルベールビル
参加者: 7名
参加者: 365名
参加国: 24カ国

オットーボックは冬季大会としては初めての修理サービスを提供。

リレハンメル
参加者: 471名
参加国: 31カ国

アジアで初めて冬季パラリンピック開催。修理サービスチームでは日本人技術者が中心となりサービスを提供。

長野
参加者: 20名
参加者: 571名
参加国: 31カ国



ソルトレイクシティ
参加者: 24名
参加者: 416名
参加国: 36カ国



トリノ
参加者: 32名
参加者: 474名
参加国: 38カ国



バンクーバー
参加者: 502名
参加国: 44カ国

オットーボックとIPC 共催で「モーションスピリット- 私たちを動かしているものを見てみよう」展を現地開催。



ソチ
参加者: 28名
参加者: 538名
参加国: 45カ国

日本人1名を含む技術者28名が2カ所のパラリンピック村と3カ所の競技会場でサービスを提供。



ピョンチャン
参加者: 28名
参加者: 538名
参加国: 45カ国

修理サービスを開始して30年目となるピョンチャン大会でも、オフィシャルサービスプロバイダーとして、パラリンピックをサポート。



- オットーボック修理技術者
- 参加競技者
- 参加国